

1. 岡山大学の学士課程教育

1-1 岡山大学のミッション

岡山大学のミッション

“高度な知の創成・創発・継承を通じた、人類社会の持続可能な未来の実現”

岡山地域は、日本初の庶民のための学校「閑谷学校」創建、備中松山藩の財政再建・教育改革など、社会課題に向き合ってきた歴史と、人・物・文化が交わる要所として多様な交流が育まれてきた地理的特色を有しています。

岡山大学は、「研究大学」として、こうした地域の歴史と特色を背景に、多様な知と人材が集い新たな知を生み出す知の交差点となり、高度な知を生み出し(創成)、分野を越えて知を融合し発展させ(創発)、未来を担う人材を育むことでその知を次世代へと受け継いでいきます(継承)。そして、学内から地域、世界へと広がる多様なステークホルダーと共に地球規模の課題解決に取り組むことで、持続可能な未来の実現に貢献します。

1-2 岡山大学の学士課程教育における方針

1. 教育の基本的目標

岡山大学は、大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。これまでの高度な研究活動の成果を基礎として、学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに、学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて、個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

2. 養成する人材像

自ら行動を起こすために学び続ける実践者

教育の基本的目標に掲げられた、学生が「主体的に”知の創成”に参画し得る能力」を専門力及び探究力、「学生同士や教職員との密接な対話や議論」をコミュニケーション力、「豊かな人間性」を教養力、「国内外の幅広い分野において中核的に活躍」を実践力としてそれぞれ捉え、新たな価値創造と世界の革新に貢献できる「主体的に変容し続ける先駆者」を養成します。

学士課程では、以下5つの力を持つ人材を養成します。

自ら進んで、課題解決に挑む実践力

自ら問うて、課題を見出す探究力

語り聴くことを通して、差異から学ぶコミュニケーション力

基礎的かつ体系的な専門力

自然や社会に関心を持ち、学びを習慣化する力(教養力)

1. 岡山大学の学士課程教育

3. 卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）

本学は、先に掲げた人材を養成するため、所定の期間在学し、以下に掲げる力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

修得できる力：実践力・探究力・コミュニケーション力・専門力・教養力

実践力 自ら進んで、課題解決に挑む実践力

身近な課題と向き合い、解決に向けて行動することができる。

探究力 自ら問うて、課題を見出す探究力

対象に疑問を持って、多面的な検討を加えて課題を明らかにすることができる。

コミュニケーション力 語り聴くことを通して、差異から学ぶコミュニケーション力

出会いの中から違いを理解し自らを高めることができる。

専門力 基礎的かつ体系的な専門力

それぞれの専門領域の土台となる知識、技能を生かすことができる。

教養力 自然や社会に関心を持ち、学びを習慣化する力

身の周りの事象に好奇心を持ち学び続けることができる。

4. 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）で掲げた力を修得した人材を養成するため、全学として以下の方針及び考え方にに基づき、教育課程を編成し、実践します。

教育の実施方針

持続可能社会の実践に向けて学生が主体的に学び続ける能力を育成する教育を実施します。

教育内容の考え方

主体的・対話的で深い学びの視点から、「何を教えたか」から学生が「何ができるようになったか」を重視して、以下の教育内容を提供します。

共通教育

全ての学生に共通して求められる汎用的技能の育成を目指し、他の学生と学び合う、共に育ち共に創る実践的な活動を提供します。

特に学士課程では、自身の考えと異なる人との対話や協働を進めるために必要な知識や技能を身につけるカリキュラムを提供します。

専門教育

専門領域の内容を体系的に提供することによる深い理解と、異なる専門領域の知識を統合したり、創造したりすることができる機会を提供します。

特に学士課程では、自身の考え方を豊かにする異分野の知識や技能、自身の専門を築いていく体系的かつ基礎的な専門知識及び技能を、学生同士が切磋琢磨することにより身につけるカリキュラムを提供します。

言語教育

グローバル社会を生きるうえで必要とされる英語力を伸ばす教育を提供します。

特に学士課程では、聞く、読む、話す、書くを統合した総合力を伸ばすために必要な英語、異文化理解の科目群を通じて言語を学ぶ初修外国語、留学生には日本語、それぞれを学ぶ機会を提供します。加えて、正課のみならず正課外においても言語を学ぶ機会を創出します。

1. 岡山大学の学士課程教育

教育方法の考え方

前述の教育内容を以下の方法で提供します。

- ① 自身の可能性を主体的に広げる教育方法を展開します。
人が交わる共通教育、知が交わる専門教育、言葉が交わる言語教育を通して他者を理解し、切磋琢磨しながら、自身の可能性を広げる教育方法を実施します。
- ② 総合大学の長をを活かした教育体系を提供します。
自らの専門を尊重しながらも、様々な専門との出会いにより、共に考え、共に動き、共に創り、共に育む教育体系を全ての課程で展開します。
- ③ 学生の成長に応じた実践的な教育プログラムを提供します。
学士課程から大学院課程で留学やインターンシップ、プラクティカム等、地域や世界とつながった実社会における学びを提供します。

学修評価の考え方

厳格な学修評価を実施します。

授業科目の成績評価については、その基準・方法を予め明示し、それらに基づいて学修成果を評価します。

正課外教育の考え方

学生が授業での学びを越えて自らの成長を実感できる正課外の機会を提供します。

5. カリキュラム・マップ

各授業科目に対し、ディグリー・ポリシーに掲げられた「実践力」「探究力」「コミュニケーション力」「専門力」「教養力」の5つの力のうち、どの能力の育成に貢献するかの対応関係を示した図である「カリキュラム・マップ」を策定しています。

カリキュラム・マップは、学生の学修成果を客観的・多元的に可視化するためのシステムである学修ポートフォリオシステムにも活用されています。

6. カリキュラム・ツリー

入学から卒業までのカリキュラムの体系性を示し、授業科目の相互の関係性や学修の道筋等を表した図が「カリキュラム・ツリー」です。学部・学科等ごとに、学位を取得するために、どの科目をどのような順番で履修していけばよいか、履修イメージを形成することができます。

また、各学部・学科等における教育方針も策定されています。

所属する学部・学科の教育の方針は、以下の URL から確認してください。

<岡山大学の教育における方針>

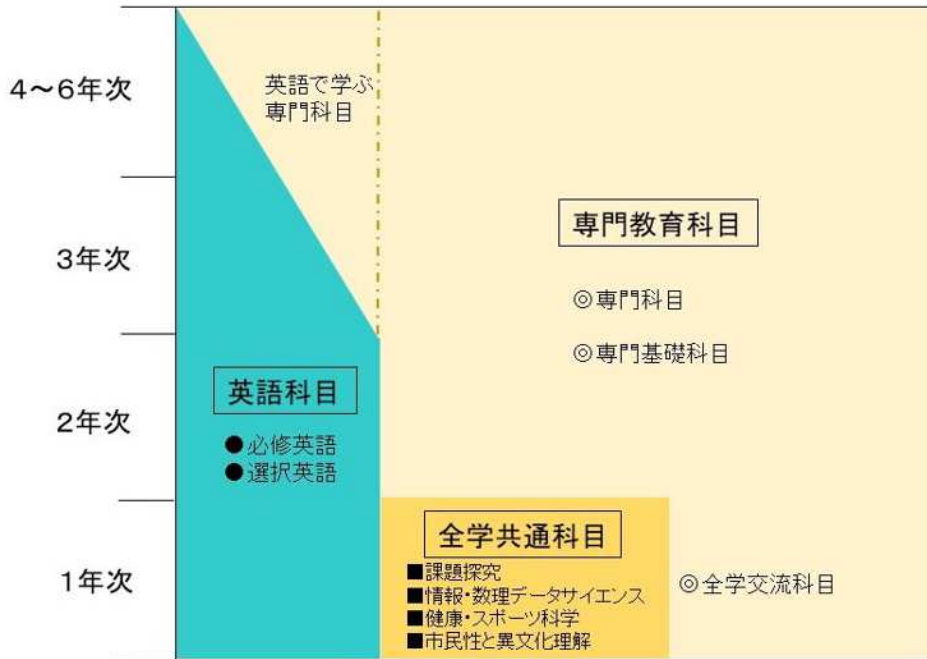
<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/education-policies.html>

1. 岡山大学の学士課程教育

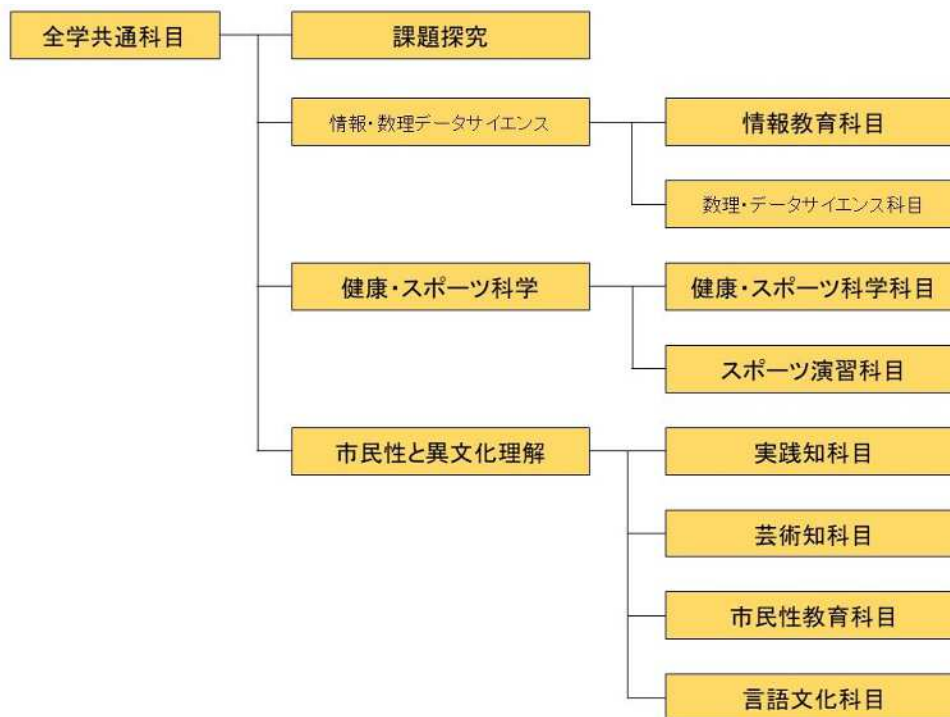
1-3 岡山大学の学士課程教育プログラム

三つの大きなプログラムー「全学共通科目」と「英語科目」と「専門教育科目」ー

2025年度より、岡山大学の学士課程教育プログラムは、所属する学部の違いを超えた共通の授業内容から成る「全学共通科目」と「英語科目」、それぞれの学部に固有の授業内容から成る「専門教育科目」の三つで構成されており、これらを各年次に配当しています。



また、各科目区分は、以下のとおり構成されています。



1. 岡山大学の学士課程教育

